

# 会 議 録

## 1 会議名

令和5年度第7回谷浜・桑取区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【報告事項】

- ・日帰り・宿泊温浴施設の適正配置の取組について（公開）
- ・上越市消防団上越方面隊谷浜分団の組織体制の見直しについて（公開）

### 【自主的審議事項】

- ・伝統行事、史跡、文化の継承について（公開）
- ・来訪者を受け入れるための地域づくりについて（公開）

## 3 開催日時

令和6年1月22日（月）午後6時30分から午後8時00分

## 4 開催場所

上越市立谷浜・桑取地区公民館 大会議室

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：坪田 剛（会長）、金森幸雄（副会長）、安達麻美、齊藤徳夫、  
佐藤寿美子、佐藤峰生、田村 隆、寺島和枝、平野コトミ、  
水寫豊秋、横田正美（欠席者1名）
- ・資産活用課：山岸副課長、小関係長
- ・観光振興課：青柳副課長
- ・事務局：北部まちづくりセンター：佐藤所長、近藤副所長、丸山主任

## 8 発言の内容

### 【近藤副所長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の

出席を確認、会議の成立を報告

【坪田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：平野委員に依頼

議題【報告事項】日帰り・宿泊温浴施設の適正配置の取組について、資産活用課、観光振興課からご説明いただきたい。

【資産活用課：山岸副課長】

- ・挨拶

日帰り温浴施設の適正配置の取組については、令和4年の8月に一度皆様へご説明をさせていただいている。その内容について改めてご説明させていただくと、温浴施設全般について、施設の老朽化、コロナ禍の影響、また利用者の嗜好の変化などにより、利用者、収入、いずれも減少していく。併せて、修繕等の経費が増加している状況である。こうした状況を踏まえて、まず民間の活力を活用することで施設のさらなる利活用を図る、これを目指したいということをご説明をさせていただいた。その取組の端緒として、令和4年9月から12月にかけて、民間の事業者の皆様と対話型の調査、当時はサウンディング型市場調査とご説明しているかと思うが、そちらを実施した。その結果については、一部の施設において、民間事業者から施設の譲渡、貸付、これを受けて運営をしたい、或いは検討したい、また指定管理者として参加することを検討していきたいというご提案をいただいた。加えて、この地域の管内の温浴施設くわどり湯ったり村においては、昨年春に指定管理者の公募を行い、一部の事業者の方からは、施設を譲り受けて運営することも視野に入れてというご提案をいただいたところである。温浴施設全般について、一定の民間の需要、民間でもやってみたい、我々の市の施設の中でもやってみたいというような需要があるということを確認したところである。これを受けて、現在公の施設の適正配置計画において、施設の方向性が引き続き協議としていた施設、要は方向性は未定の施設について今後の取組案をまとめさせていただいたので、ご説明に上がらせていただいた次第である。なお、地域協議会の皆様へのご説明に先立ち、市議会に昨年12月22日にご説明をさせていただいたが、あくまでもこの報告については、先ほど申し上げたとおり地域協議会の皆さんのところに令和4年4月からこの取組のお話をさせていただいているが、基本的な考え方、その当時説明した内容や、今後の温浴施設の適正配置の取組に関しての考え方をご説明させていただ

いた。今後の適正配置をどのように進めていくかについては、地域の皆さんと話をしながら進めていきたいと考えている。

・資料「日帰り・宿泊温浴施設の適正配置の取組について」に基づき説明

**【坪田会長】**

説明に対し、質問等を求めるがなし。

**【観光振興課：青柳副課長】**

すでに町内会を通じて各戸に配布させていただいていると思うが、くわどり湯ったり村の排煙窓のオペレーターが老朽化して傷んでいるということで、施設の設備点検で指摘を受け、直さないと営業ができない状況であったので、2月から当面の間臨時休館とさせていただいた。具体的には2月1日から3月22日までの期間になる。ただし、2月3日、4日の土日、2月10日、11日、12日の土日祝日については営業させていただく。冬季間で比較的客户が少ないときに、こういった工事を実施したいということなので、臨時休館についてもご理解をいただきたい。

**【坪田会長】**

この件について質問等はあるか。

多分各戸配布になっていると思うが、できれば薄い色が濃く入っていたほうがよかったと思う。どこからどこまでの区分けが少しわかりづらかった。

**【田村委員】**

休館の資料は配布されているのか。

**【観光振興課：青柳副課長】**

町内を通じて、既に配布をしていただいた。

**【田村委員】**

何日付けか。このことは新聞で知ったが。

**【観光振興課：青柳副課長】**

各町内での配布の日付までは把握していない。町内ごとにタイムラグがあると思う。市からは各町内への配布のほか報道機関への情報提供も併せて行っている。

**【坪田会長】**

他に質問等を求めるがなし。

以上で日帰り・宿泊温浴施設の適正配置の取組について、終了とする。

— 資産活用課、観光振興課 退室 —

次に【報告事項】上越市消防団上越方面隊谷浜分団の組織体制の見直しについて、事務局から説明願いたい。

【丸山主任】

- ・資料「上越市消防団上越方面隊谷浜分団の組織体制の見直しについて（報告）」に基づき説明

【坪田会長】

消防団では、今年は長浜地区から1月7日に出初式ということで、早速取り組んでいただく予定だったが、1月1日の地震があったので急遽中止になった。来年はどの方面からやるのか分団でお決めになるかと思うが、そのように早速消防団で取り組んでいただいている。そのようなことを含め、今の説明に対して意見等はあるか。

【田村委員】

団員が少ないので、趣旨はよく理解しているつもりだが、個人的に一点疑問に思っている。私どもの町内に消火栓があり、消火栓ごとにホースや筒先等を設置している。もし町内で災害があった際には、そこにいる人が即座に駆けつけてその消火栓を開いて消火活動ができるようにといった趣旨で平成18年くらいに設置したが、昨今は、消防の経験等がない人は絶対操作するな、活動した際にホースが暴れて事故等になる可能性があるので絶対やめてくれと言われているが、理解があるときから変わったのではないか。この再編とは直接関係ないかもしれないが、そこを確認したい。

【丸山主任】

正確にお答えするために一旦持ち帰らせていただき、危機管理課へ確認してから、報告させていただく。

【田村委員】

最初に導入した際は、災害を広げないためにできるだけ最初にいる人がやればいいのかという趣旨で言ったつもりだったが、危険について言われると、今言われているとおりである。自分の家のすぐ前にもあるが、例えば、平成18年にも災害をもらったことがあり、そのときに自分の家が燃えようとしていたので、開けざるを得なかった。当然開けたが、現在の取り扱いで考えると、このようなことをしてはいけないのかということである。

【丸山主任】

そのあたりの取り扱いについて、確認の上報告させていただき、次回の地域協議会で

報告させていただく。

**【坪田会長】**

確かに地域の方に偏りがあるのではないかと思います。

**【水嶋委員】**

統廃合の話が何年前にあり、町内会長協議会に報告があったと思うが、今年度か来年度からは、谷浜で一部にしていくという話だったが、まだそこまではいっていないと思う。私たちのほうも消防がなくなったが、そのときにポンプだけ残してもらい、地域で管理してはどうかと言ったが、そのときのお話では、一切そういうことはしないでくれ、今の話のように、事故や怪我があった場合は、市の責任になるので絶対しないでくれと言われた覚えがある。それが変わったかどうかわからないが、本来ならば今ある消火栓も設置しておくのがベストだと思う。

**【田村委員】**

実際にある。

**【水嶋委員】**

あるのはわかるが、本当はそういうことも駄目だということだと思う。消火器を持ってきてかけるくらいはいいのだろうが、そのときの話では、そういった消防器具を使った消火活動のようなことは一般市民は一切駄目だと私は受け取った。

**【坪田会長】**

一本化ということなので、ある程度共通したものでないと、この地域はよくて、この地域は駄目だというような消防団の個々の判断ではまずいので、見解は一つのものにしてもらい、確認していただければありがたいと思う。

**【金森副会長】**

2年経つと思うが、有間川に新しく消火栓を一つ設置した。もちろん市からの要請工事で設置されたのだが、消火栓は設置されたが筒先やホース等は一切ない。市の消防本部、危機管理室だったと思うが、筒先やホース等がないがいいのかと確認したら、消防本部から各分団に対して指導文書が出ている。それは、先ほど言われたとおり、訓練も教育も受けていない一般の人が、それに携わるようなことをやってしまうと非常に危険だということで、一般の人には初期消火を除いて一切手を出しては駄目という文章があるということで、コピーを見せてもらっただけで手元にはないが、そんなことがあった。その後、多分変わっていないのだろうと私は受けとめている。確かに、目の前で燃えて

いてそこに消す道具があるのにという思いはあるが、一般の人が命をかけてまで、炎が天井に上がった時点で初期消火は過ぎて専門職の仕事なんだと割り切ってもらいたいと言われた覚えがある。参考までに、そんな動きがあった。

**【水嶋委員】**

今金森副会長の言われたとおりだと思う。私は去年まで町内会長だったので、町内の人には、小さくても大きくても火災が起きたときは、大げさでもいいからとにかく消防署へ連絡してくださいとお願いをしている。本来ならば田村委員が言うように、近くにいる人が消せば、ぼやで済んだりすることもあるかもしれないが、何かあった場合には、誰が責任を取るのかと言われると、市も困るし、町内も困るし、本人も困ってしまうので、それはもう、割り切るしかないのではと私は思う。

**【坪田会長】**

いろいろな意見があると思うが、有事の際に国道一本だけなので、両方をふさがれてしまうと孤立した町内になってしまう。そういったことも含めて、自衛団、地元の方が簡易に使えるようなものがあったり、説明もしていただきながら有事の際に間に合うような形にしたほうが、被害は少なく食い止められるのではないか。危険性もあったりいろいろなことが絡むのだろうが、そのへんはよくわからないが、ただ消したいという思いもあり、そうしなければならぬ部分もあるので、何とも言えない部分である。そのへんを確認してご報告いただきたい。

**【丸山主任】**

まず事実関係を確認し、次回の協議会で報告させていただく。

**【坪田会長】**

事務局で確認し、次回報告ということでよいか。

他に意見を求めるがなし。

報告事項、上越市消防団上越方面隊の谷浜分団の組織体制の見直しについてを、終了とする。

次に【自主的審議事項】伝統行事、史跡、文化の継承について、及び来訪者を受け入れるための地域づくりについて、事務局から説明をお願いしたい。

**【丸山主任】**

地域生き生き部会については、1月14日、15日西横山集落において小正月行事が執り行われたと思う。そして地域生き生き部会では、この西横山集落の小正月行事につ

いて、協議を行ってきた。当日見学された委員がいらっしゃれば感想等を報告いただきたい。また本日は、横畑集落小正月行事、馬のチラシを配布させていただいた。このチラシの中に当日のスケジュールやいわれ等の情報もあるので、このチラシを参考としながら意見交換などを行っていただきたい。また、ご自身のお住まいの地域でも、西横山、横畑に限らず、小正月行事、さいの神なども執り行われたかと思うので、そういった内容も含めて意見交換、ご協議をいただきたい。

魅力活用部会については、昨年12月18日に関係団体と意見交換をさせていただいた。その中でいただいた意見を踏まえてご協議いただくとともに、具体的な実施計画の検討をお願いしたい。アンケート用紙については、資料No.1の別紙として、12月18日意見交換会での意見を踏まえた修正案を事務局で作成させていただいたので、こちらを参考にさせていただきたい。

各部会共通として、第四期地域協議会の任期満了が近くに差しかかってきており、地域協議会が残り何回できるかという状態である。そういった時期でもあることから、地域活性化の方向性、今年度作成したものの構成要素の振り返りを行っていただきたい。今年度は各部会において一つずつテーマ、自主的審議事項に挙げていただきながら、協議、深掘りをしていただいたが、来期に向けて構成要素のこの部分について話し合ってもらえたらいいのではないかと、この部分についてここまで協議ができたというところを、委員の皆様で意見交換、協議をしていただきたい。

#### 【坪田会長】

今までの説明についてご意見、質問等はあるか。ないようなので部会別協議に入る。部会の会議は19時40分までとする。

#### － 部会別協議 －

地域生き生き部会から報告をお願いしたい。

#### 【水島委員】

本当は、この地域の人みんなから知ってもらえるようにチラシを出す予定でいたが、関係者から、そう大勢来てもらっても困るというお話をいただいて、前回の意見交換会のお話したが、チラシは中止にさせていただいた。当日は私も行かせてもらったが、結構若い方が来られていて、この地域の方より遠くの方のほうが大勢来ておられるような状態で活気があった。それを聞いていると、これはしばらく大丈夫ではないかと感じた。馬は2月10日なので、まだ様子はわからないが、例年大勢来てもらっている

そうなので、この小正月行事に対しては、今のところのように続けていけば、しばらく大丈夫ではないかと感じた。それで今後、こういう行事を続けていき、どのように地域の活性化に結びつけていけるか議論できればと思う。

#### 【坪田会長】

今ほど地域生き生き部会長から報告していただいたが、意見等はあるか。

私もその日、嫁祝いから参加をさせていただいた。すごく雪が降っていた。地元の方は、小学生が参加して賑わしたことが非常にありがたいと口癖のように言っていた。あと失礼な話だが、平日だったので私たちより年上の、高齢の方が多かったように思う。地元の年配の方が、「小学校があるからこうやって賑わってできる。小学校がなければ誰もいない」とすごく賞賛していた。嫁祝いは、今回二人いて、振る舞い酒をいただいたりしてきた。今ほど水嶋部会長からもオーマラの話があったが、大勢人がいた。市長も参加して向かって行って大分叩かれていたようだった。くわどり湯ったり村の支配人も初参加ということで、お二方に参加していただいた。翌日私が「足痛いでしょ」とからかったら、「若いですからあと二、三日後に痛みがくるでしょう」と冗談を言われていた。嫁祝いにしても、オーマラにしても、芸術というか、歴史ある小正月行事である。大勢の方が興味を持って来ていたように思う。盛大だった。すごく雪が降って、風が強くて開催できるのかと思ったが、ピタッと止まり、やはり神様がいると思った。

他に意見等を求めるがなし。

魅力活用部会の報告をお願いしたい。

#### 【佐藤峰夫委員】

先月、関係団体の皆さんと意見交換をして、基本的には実施について賛同をいただいたので、その内容を盛り込んだ形でアンケート用紙に赤字で修正がされて、この内容で実施しようということで最終確認をした。今の委員の任期が4月末までということなので、それまでに具体的にアンケートを実施する案を煮詰めて、実際に実施するのは6月以降になると思うので、新しい委員にバトンタッチできるようにということで最終確認をした。実施については、100部を予定している。谷浜公園で40、くわどり湯ったり村で30、そのうちの15を平左衛門カフェで、残りを有間川漁港でという形で実施を予定したい。7月、8月の海水浴シーズンについては、この第一次の100部の内容を踏まえて、別の角度での意見が必要だということであれば実施する運びになるかと思う。2月、3月、あと2回の会合の中で、さらに煮詰めるべきことがあれば煮詰めて進



むということでも最終確認をした。

#### 【坪田会長】

佐藤部会長からご報告いただいたが、意見等あるか。お互い頑張っしてほしいということでもよいか。第五期地域協議会委員の募集について念頭におきながら、そしてまた今回初めてコロナ禍で長い間一生懸命培っていただいたいろいろなこと、項目をやったので、おそらく中には自分が消化してない方もおられると思う。せっかくこんないいものを作ったのに、第五期も頑張っって委員を務めたいという人がいらしたら、どんどん申し出ていただいて、また参加していただければ非常にありがたいと思う。変な意味ではなく、せっかくこういった形で会議を開いた中で、それぞれ部会によって決めたこともあるので、継続は何とかなるではないが、引き続きそれを繋いでいいものにしていければありがたいと思う。

他に意見を求めるがなし。

その他、事務局から何かあるか。

#### 【丸山主任】

- ・次回協議会：2月19日（月）午後6時30分から
- ・活動報告会：3月2日（土）午後1時30分から

今回の自主的審議事項について皆様からご協議いただいたが、活動報告会の前なのでふりかえりということでもとめに取り組んでいただきたい。また3月2日に行う活動報告会で使う資料についても皆様からも事前にご確認いただきたいので、令和2年から活動していただいているこれまでの取組を総括したものを、準備させていただきたいと考えている。

#### 【水嶋委員】

この活動報告は私たちではなく、出た方の活動報告ということか。

#### 【丸山主任】

活動報告会は、第四期地域協議会の委員の皆様これまでの活動を、地域の皆様に報告する場として開催させていただくものなので、委員の皆様からご出席いただきつつ、町内会長やいろいろな団体の皆様にお声がけをさせていただいている。そういった皆様に「地域協議会ではこのような活動をしています。第五期の公募を今やっておりますので、皆様ぜひともご応募ください」といったものをPRさせていただく場にもさせていただければと考えている。

【坪田会長】

他に質問、意見を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。